

土地改良事業計画変更概要書 (平田地区 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業)

第1章 変更の内容概要

1 変更概要

(1) 受益面積

(単位：h a)

区分	変更前				変更後				増△減
地目	田	畑	他	計	田	畑	他	計	計
受益面積	121.0			121.0	121.0			121.0	0

(2) 事業費

(単位：百万円)

変更前 事業費	変更後 事業費	増△減	変更前 事務費	変更後 事務費	内 訳			
					物価変動	工法	事業量	その他
158.9	296.0	137.1	4.0	7.2	19.8	117.3		

(3) 主要工事計画

工種	数量			工事費 (百万円)		
	変更前	変更後	増△減	変更前	変更後	増△減
頭首工	1 式	1 式	0	144.9	272.7	127.8
小計			0	144.9	272.7	127.8
測量設計費	1 式	1 式	0	10.0	14.5	4.5
用地補償費	1 式	1 式	0	0.1	1.5	1.4
工事雑費	1 式	1 式	0	3.9	7.2	3.3
小計			0	14.0	23.3	9.3
事務費	1 式	1 式	0	4.0	7.2	3.2
小計			0	4.0	7.2	3.2
計			0	162.9	303.2	140.3

(4) 予定工期

変 更 前	令和6年度から令和8年度まで
変 更 後	令和6年度から令和10年度まで

2 変更の理由

【工事費】

仮設工（河川内仮締切等）について、当初、河川管理者へ協議を行い、他現場のゲート補修実績に基づき簡易的な止水板による仮締切を計画していた。しかし、実施設計時において詳細協議を行った結果、河川管理者より、河川改修事業関係例規集（基準雨量や不等流計算）に基づく仮設計画とすること、仮締切内は仮締切天端高と同じ高さまで盛土すること、流水方向に対して大型土のうが直角とならないように設置するなど、流出防止対策等の指示があったことから、今回、仮締切に必要な土量（中詰土及び盛土）や大型土のう袋数が大幅に増加したことによる事業費の増。

また、ゲートの更新については、当初2ヶ年施工を計画していたが、実施設計時に三者検討会を行った結果、想定よりも河川流量が多く、仮にゲート2門の仮締切を行った場合、河川水位が急激に上昇し周辺の河川構造物等への影響があること、また、非出水期間中（11月～5月まで工事期間約7ヶ月）での施工となるが、ゲート1門あたりのシリンダー更新・塗装・部品交換等の作業に最低4ヶ月かかり、非出水期間内での工事完了が困難であることが判明した。このため、今回、令和7年度に右岸側起伏ゲート（1門）及び右岸側取水ゲート（1門）の施工を実施し、令和8年度に中央起伏ゲート（1門）、令和9年度に左岸側起伏ゲート（1門）、左岸側取水ゲート（1門）及び操作室（油圧ユニット交換）の3ヵ年計画としたことから、仮設工の設置・撤去に伴う事業費の増。

【用地補償費】

上記工法変更により、仮締切に必要な土量や大型土のう袋数が大幅に増加したことに伴い、土砂仮置場や製作ヤード等が追加で必要となったこと、また、左岸側ゲート施工時は左岸側から河川内へ進入する計画へ見直したことに伴い、新たな借地を行う必要が生じたことによる事業費の増。

【測量設計費】

上記工法変更に伴う委託費の追加による事業費の増。

【工事雑費】

上記工法変更に伴う工事雑費の増。

第2章 事業目的

平田頭首工は、一級河川大淀川の合流地点より約3.7km上流の庄内川に位置し、庄内川兩岸に広がる農地へ取水をおこなう農業用施設である。昭和52年に供用開始以来、既に45年以上が経過し洪水時の流水等により塗装の剥離、扉体下部の止水ゴムの劣化により漏水が生じ、安定した用水の確保が困難な状況となっている。

土地改良区は補修等によって対応行っているものの修繕費が高額なことや、昨今の洪水発生状況から施設の機能低下が懸念されるため、当該施設を補修等により整備することで施設機能の不安定化を解消し、農業経営の安定化に資するものである。

第3章 地域の所在及び状況

1 地域の所在 本地区は、都城市中心部から北西約6.3kmに位置する水田地帯である。

2 地域の現況 本地区の営農は、水稻を中心に農林業が主である。

第4章 基本計画

当事業により、自動転倒ゲートの補修、油圧ユニットの更新及び取水スライドゲートの更新を行う。受益面積は121.0haである。

計画区域内の配慮すべき環境資源について、有識者等の意見を参考に検討を行ったところ、計画区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されなかった。しかし、受益地より下流側の河川環境への負担を低減させるよう、極力、汚水流出防止に努めることにより、環境との調和に配慮する計画である。

第5章 工事又は管理の要領

工事は宮崎県施工とする。

工事後の管理は、庄内土地改良区で行う。

第6章 換地計画の要領

該当なし

第7章 費用の概算

変更前	162,850千円（事務費	3,980千円を含む）
変更後	303,240千円（事務費	7,220千円を含む）

第8章 効用

1 変更前

（効果の単位：千円）

維持管理費 節減効果	災害防止効果 （農業資産）	災害防止効果 （公共資産）	計	総費用 総便益比
△1,184	55,954	1,430	56,200	1.51

2 変更後

（効果の単位：千円）

維持管理費 節減効果	災害防止効果 （農業資産）	災害防止効果 （公共資産）	計	総費用 総便益比
△1,418	57,882	1,439	57,903	1.40

第9章 他の事業との関連

該当なし

第10章 計画概要図

別紙添付